

# 新学術領域研究「分子活性化」

## 第3回公開シンポジウムプログラム

平成24年5月18日（金）～19日（土）

金沢歌劇座（金沢市下本多町）

5月18日（金曜日）

- 9：50～10：00 領域代表挨拶
- 10：00～10：30 光駆動型分子活性化法  
村上 正浩（京大院工）
- 10：30～10：50 二酸化炭素をC1ユニットとして利用したアミノ酸類の合成  
佐藤 美洋（北大院薬）
- 10：50～11：10 標的指向型C-H直接連結反応の開発と展開  
山口 潤一郎（名大院理）
- 11：10～11：30 遷移金属触媒を用いないハロゲン化アリのルカップリング反応  
白川 英二（京大院理）
- 11：30～11：50 ベンジル位C( $sp^3$ )-H活性化を経由したオキシインドール合成法の開発  
塚野 千尋（京大院薬）
- 11：50～13：20 昼食
- 13：20～13：50 ピンサー型ボリルパラジウム錯体を活性種とする触媒反応  
岩澤 伸治（東工大院理工）
- 13：50～14：10 ロジウム触媒によるホルミル化合物の活性化を基軸とした新分子変換  
森本 積（奈良先端大物質）
- 14：10～14：30 水酸基活性化に基づく1,3-ジオールの不斉非対称化  
尾野村 治（長崎大院医歯薬）
- 14：30～14：50 ニッケル錯体触媒による活性アルケンを利用した還元的カップリング反応  
緒方 賢一（中央大理工）
- 14：50～15：10 パラジウム-銅触媒系によるアリールトリメチルシランの活性化と酸化カップリング反応  
大井 秀一（東北大院大）
- 15：10～15：30 コーヒーブレイク

- 15 : 30～15 : 50 金属触媒を用いた複雑な反応機構の計算化学的解明  
森 聖治 (茨城大理)
- 15 : 50～16 : 10 アルケンへの触媒的な酸素求核剤付加反応の実現に向けたパラジウム  
活性種の創出  
浦 康之 (奈良女大理)
- 16 : 10～16 : 30 大環状4座ホスフィン2核ヒドリド錯体の合成と還元反応  
水田 勉 (広島大院理)
- 16 : 30～16 : 50 低配位14族元素を有する2核ルテニウム錯体上での分子変換反応  
竹本 真 (阪府大院理)
- 16 : 50～17 : 00 講評
- 18 : 00～20 : 00 懇親会

#### 5月19日 (土曜日)

- 9 : 20～ 9 : 50 タンパク質マトリクスを反応場とする新しい金属触媒の設計と評価  
林 高史 (阪大院工)
- 9 : 50～10 : 10 ゼオライトによる安定分子の活性化：不安定分子の発生とその安定捕捉  
尾中 篤 (東大院総合文化)
- 10 : 10～10 : 30  $\pi$ ポケット反応場を有するカゴ型ホウ素錯体による芳香族化合物認識  
反応  
安田 誠 (阪大院工)
- 10 : 30～10 : 50 活性炭を促進剤として用いる種々の酸化反応  
林 昌彦 (神戸大院理)
- 11 : 00～11 : 50 **特別講演**  
Activating Molecules Using Carbene Catalysis  
Karl Scheidt (Northwestern Univ., USA)
- 11 : 50～12 : 00 事務連絡 閉会